

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(小学校用)

都道府県名	岐 阜 県
-------	-------

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	岐阜県揖斐郡池田町立温知小学校						フロンティアティチャー		小椋真智子	
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数	
学級数	3	3	3	3	3	3	2	20	28	
児童数	95	106	111	99	103	103	7	624		

研究の概要

1. 研究主題

個に応じて  
「確かな学力」の定着と向上を図る少人数指導  
～学ぶ喜びを求めて～

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

・全学年・算数  
算数は積み上げが必要で各学年での基礎・基本を確実に身に付けていくことが特に重要であると考えているため。  
・1年生2年生・国語(試行)  
国語は、低学年での言語領域や書くことでの基礎・基本が大切であり、また、低学年では特に能力差が大きいと考え、個に応じるため。  
・理科・6年生(試行)  
6年生の理科でTTを基本として、実験観察の時間や課題別学習で個に応じた指導を行うため。

(2) 年次ごとの計画

平成15年度

テーマ  
個に応じて「確かな学力」の定着と向上を図る少人数指導  
～学ぶ喜びを求めて～

研究の見通し  
(仮説) 個に応じた指導のための少人数指導の在り方を工夫し、教材開発や評価を生かした授業改善をすれば、「確かな学力」の定着を図ることができる。  
(重点) 算数を中心にして教材開発、学習指導、授業評価の3つの視点から課題に迫るための授業改善を図る。

研究の内容・方法  
研究内容  
(1) 個に応じた指導のための教材の開発  
(2) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫、改善(少人数指導)  
(3) 児童の学力の評価を生かした指導の改善  
(4) 授業改善のための児童による授業評価

研究方法  
・研究組織を確立し、研究内容について検討、実践、分析を行う。  
・研究内容について、研究の視点をもって公開授業を行い、検証する。全校研究会で各学年1回、及び学年部研究会、学年研究会を随時行う。西濃地区協議会の時に授業公開をする。  
・少人数指導について、地域や保護者に啓発する。学校通信、学年通信、ページング放送等で啓発する。授業参観日に授業公開し、理解を得る。年度始めと年度末に保護者にアンケートをとり、少人数指導についての意識をつかむ。

平成16年度

テーマ  
個に応じて「確かな学力」の定着と向上を図る少人数指導  
～学ぶ喜びを求めて～

研究の見通し  
(仮説) 個に応じた指導のための少人数指導の在り方を工夫し、教材開発や評価を生かした授業改善をすれば、「確かな学力」の定着と向上を図ることができる。  
(重点) 平成15年度の成果と課題をもとにして、算数を中心にした少人数指

導の深化を図る。

研究の内容・方法

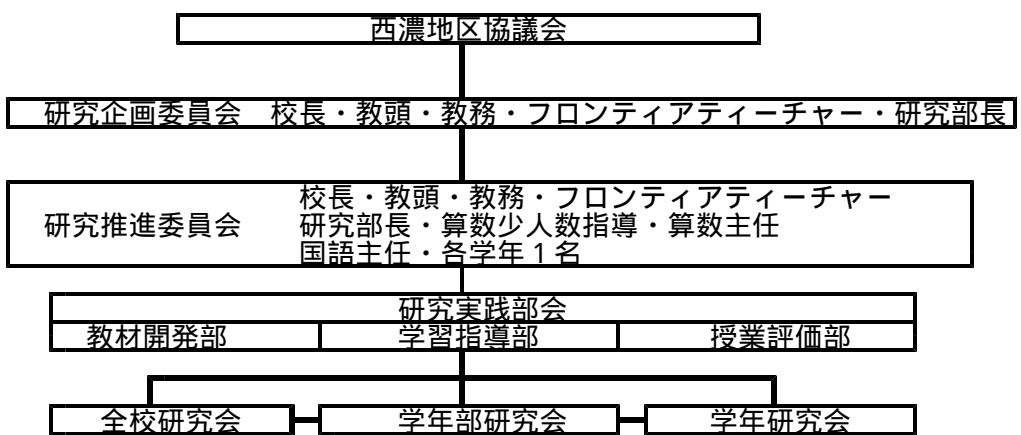
研究内容

- (1) 個に応じた指導のための教材の開発
- (2) 個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫、改善（少人数指導）
- (3) 学力の評価と児童による授業評価を生かした指導の改善

研究方法

- ・研究組織を生かし、研究内容について検討、実践、分析を行う。
- ・研究内容について、研究の視点をもって公開授業を行い、検証する。全校研究会で各学年1回、及び学年部研究会、学年研究会を随時行う。西濃地区協議会の時に授業公開をする。
- ・少人数指導について、地域や保護者に啓発する。(以下平成15年度と同様)

(3) 研究推進体制



研究推進委員会を核とし、下部組織である研究実践部会の教材開発部、学習指導部、授業評価部が研究内容を分担し、お互いが連携を図り推進していく。

平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究の成果

- < 研究内容 1 >
  - ・基礎的・基本的な内容の定着を図るために、実践を通して教材教具の開発を進めることができてきた。
  - ・習熟度別学習では、各コースのねらいをふまえ、習熟を図る学習プリントの作成や自分の考えを表す学習プリントを作成することができた。
- < 研究内容 2 >
  - ・6モデル化した少人数指導、習熟度別学習を行うことによって、より個に応じた指導を行うことができた。
  - ・評価規準を明確にした単元指導計画の作成や、学習過程の確立により、確かなねらいをもって少人数指導を行うことができた。
- < 研究内容 3・4 >
  - ・学力の評価や児童による授業評価を生かし、児童の実態をふまえて、指導法を工夫した習熟度別学習を行ったことで、より個に応じた指導をすることができた。
  - ・算数の学習過程にそった評価項目にしたことで、学年に応じた自己評価を行うことができるようになってきた。



児童に行ったアンケート結果(平成15年3月、7月、12月実施)

あなたは算数の授業が好きですか。

	3月	7月	12月
好き	61	63	61
どちらでも	24	27	30
嫌い	15	10	8

(%)

算数の勉強はよく分かりますか。

	3月	7月	12月
分かる	64	68	72
どちらでも	28	27	26
分からない	8	4	2

(%)

[低学年]どんな学習方法が好きですか。

学級単位で担任 20%    T T 21%    少人数 59%

少人数指導TTがよいわけ(たくさん発表できるから、分からないときに質問をしやすい。2つに分けると勉強しやすい。静か、落ち着く)

[中学年]学習するとき、どのわけ方がいいですか。等質 27% 習熟度別 73%  
習熟度別学習がよいわけ(自分のペースで進めるから、じっくり進めて分かるから、発表がたくさんできるから、どんどんコースは速く進めるから)

[高学年]学習するとき、どのわけ方がいいですか。等質 4% 習熟度別 96%  
習熟度別学習がよいわけ(詳しく教えてもらえるので分かりやすい、理解度が同じくらいの人といっしょになれるから、自分に合った学習ができるから、苦手なことはじっくりコースでゆっくり取り組みたいから、自分のペースでできるから)

保護者のアンケート結果

算数における少人数指導について賛成か反対か。賛成 97% 反対 3%

賛成の理由(教師の目が届きやすいし自分のペースで学習ができる。)

反対の理由(担任でない不安、優劣意識が芽生えるのではないか)

賛成であっても不安に感じている人が多い。

児童の姿

- ・「算数が好きである。」「算数の学習が楽しい。」「自分のペースで進められるのでよく分かる。」と算数に対する前向きな心を語る児童が多くなってきた。
- ・少人数指導を行うことで、児童一人一人の発言をする機会が多くなり、自分の考えを全体に伝えることができたという満足感を味わう姿が多くなってきた。
- ・教師の目が行き渡るようになり、より個に応じた指導ができた。その結果として基礎的・基本的な内容を身に付ける児童が増えてきている。新しい問題にチャレンジしようという意欲的な姿が多く見られるようになってきた。
- ・算数の学び方が身に付き、3年以上における習熟度別学習では、自らの力を適切に判断し、コースを自己選択する中で一生懸命学ぶ児童の姿が増えてきた。

## 2. 今後の課題

- ・学力の評価や児童による授業評価を生かした授業改善を行い、さらに効果的な教材の開発を継続して行っていく。
- ・実践をもとに評価規準の見直し、どの単元でどんなモデルの少人数指導を行うことが効果的なのかを検討し、単元指導計画の改善を図る。
- ・児童による授業評価の在り方と、それを生かした授業改善をさらに探っていく。

実践研究に取り組む中で、多くの児童の算数に対する意識の変化や学びの姿の変化を見ることができるようになってきた。こうした児童の姿が他教科や他領域にも広がっていくことを願って、また、児童の声や、地域、保護者の声を謙虚に受け止めながら、研究を推進していく。

## 学力把握のための学校としての取組

児童の学力の評価

<目的> 基礎的・基本的な内容を身に付けることができたか確かめる。また、評価の結果を生かし、授業改善を図る。

<実施内容と時期>

授業中・・・教師による児童の表情や態度・算数的活動などの観察による評価  
児童の発言内容の分析による評価  
机間指導や児童のノートなどの内容分析による評価  
毎時間の練習問題による評価

授業以外・・・単元テストによる評価 学力テストによる評価

児童による授業評価

<目的> 教師が授業改善を図るために児童による授業評価を行う。

<実施内容と時期>

・単位時間の授業評価の内容(例)

今日はどんな学習をするのか分かりましたか。  
自分の考えをノートに書くことができましたか。  
自分の考えを話すことができましたか。  
練習問題はできましたか。  
今日の授業は楽しかったですか。

・単元ごとの授業評価の内容(例)

(1) 算数の授業について質問をします。

学習の課題はよく分かりましたか。分かりやすかったですか。  
自分の考えをまとめる時間は十分ありましたか。  
みんなの意見を聞いたり、友達と考え合ったりする時間は十分あったと思いますか。  
先生の話の内容はよく分かりましたか。

プリント、資料などはよく分かりましたか。  
授業についてよかったところ、今後こうしてほしいことがあったら教えて下さい。

- (2) 今回の学習内容について質問します。  
(5問程度の設問について で答える)  
学習内容で、よく分からなかったところやもう一度説明をしてほしいところがあったら書きましょう。

- ・学期末の授業評価の内容
  - あなたは算数の授業が好きですか。
  - 算数の勉強はよく分かりますか。
  - どんな学習方法が一番好きですか。
  - <3年生以上>学習するとき、どの分け方がいいですか。
  - 算数でコース別学習をするとき、どのように決めたいですか。
  - 時間ごとの学習のめあてはよく分かりますか。
  - 算数で自分で考える時間は十分ありましたか。
  - 算数でみんなで考えあう、話し合う時間は十分ありましたか。
  - 授業で使ったプリントなどは、分かりやすく使いやすいものでしたか。
  - 1学期間算数を学習してきたの感想を書いて下さい。

### フロンティアスクールとしての研究成果の普及

\* 研究会、説明会等の開催実績及び開催予定(日時、場所、対象、会の目的)

・西濃地区協議会

日時 平成16年1月28日(水)

場所 池田町立温知小学校

対象 西濃地区各小学校より1名 西濃地区各小・中学校参加希望者

西濃地区市町村教育委員会の参加希望者

各フロンティアスクールのフロンティアティーチャー

目的 本協議会は、フロンティアスクールにおける少人数指導等の実践研究の成果や、各学校における授業改善の成果を西濃地区すべての小・中学校が共有し、基礎的・基本的な内容の確実な定着、個に応じたきめ細かな指導の充実に資する。

\* 研究成果普及のためのHP作成、パンフレット作成等の実績及び今後の予定

・HP作成、研究紀要作成、リーフレットの作成

CD-ROMの作成(算数の年間指導計画「おんちプランA」、領域別指導内容系統表「おんちプランB」、評価規準を明確にした単元指導計画「おんちプランC」、1時間ごとの授業案、公開授業のみ、研究紀要、西濃地区協議会全体発表と分科会発表プレゼンテーション)

・今後の予定・・・平成16年10月下旬～12月初旬頃に西濃地区協議会フロンティアスクール公表会

\* フロンティアティーチャーとしての研究成果普及のための活動実績予定

・西濃地区協議会(中学校対象) <高田中学校>に参加

・西濃地区協議会(中学校対象) <東安中学校>に参加

・西濃地区協議会(小学校対象) <高須小学校>に参加

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

[新規校・継続校]  15年度からの新規校  14年度からの継続校

[学校規模] 6学級以下  7～12学級

13～18学級  19～24学級

25学級

[指導体制]

少人数指導

T・Tによる指導

一部教科担任制

その他

[研究教科]

国語

社会

算数

理科

生活

音楽

図画工作

家庭

体育

その他

[指導方法の工夫改善に関わる加配の有無]

有

無